

定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

令和7年9月25日

境港市定例教育委員会（令和7年9月25日委員会会議録）

招集年月日 令和7年9月25日 15時30分

招集場所 境港市役所 第一会議室

開 会 15時30分 教育長宣言

教育委員会 教育長 山本 淳一

委 員（職務代理者） 中田 耕治

委 員 十河 淳 渡邊 不二子 大部 由美

教育長から説明のため出席を求められた者

次長兼教育総務課長 北 野 瑞 弘

生涯学習課長 角 純 也

教育総務課主査 築 谷 健 作

教育総務課長補佐兼管理係長 角 本 豪

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課長補佐兼管理係長 角 本 豪

提出議案 議案第32号 境港市図書館協議会委員の任命について

協議事項 9月定例市議会教育委員会関係質問答弁について

報告事項 9月の行事報告、10月の行事予定

境港市民図書館の利用状況について

【１．開会】

山本教育長

皆様お揃いのようなので、ただいまから９月の定例教育委員会を始めます。

【２．前回議事録承認】

【３．議事】

山本教育長

本日は議案を１件と協議事項として９月定例市議会の教育委員会関係の質問答弁を予定しております。どうぞよろしくお願いいたします。

では、最初に議案の第32号ということで境港市図書館協議会委員の任命について、生涯学習課長お願いします。

角課長

議案２ページをご覧ください。境港市図書館協議会の任命についてです。次のページに委員の一覧を載せております。現在、任期が９月30日までとなっており、新たに10月１日から２年の任期でスタートいたします。備考欄で新規となっております第一中学校司書教諭の福留さん、境港親と子どもの劇場会員の奥田さん、境港総合技術高等学校司書の鳥谷さん、さかいみなと図書館応援団代表の十河さん、こちらの方を新規で任命したいと考えております。説明は以上です。

山本教育長

それでは、質疑応答等ございましたらお願いいたします。

大部委員

１点だけ質問していいですか。15人以内となると、何人以上というのはあるのでしょうか。

角課長

何人以上というのは特にはないです。今は10人にさせてもらっております。

中田委員

では、今の10人というのは、内容的なところでいうと妥当な線だということでしょうか。

角課長

そうです。

山本教育長

高橋課長には、来られない場合は、オンラインで参加をしてもらったこともありました。

大部委員 連絡協議会と協議会があるのですね。連絡協議会と協議会は大きく分けると何で仕切りがされているのでしょうか。

角課長 連絡協議会は読書まつりなどを行っています。

大部委員 運営はどこになるのでしょうか。

角課長 運営は、境港市生涯学習課です。

中田委員 オンラインありきでしたら、オンライン前提で任命するというのも、ありなのではないでしょうか。15人までということであれば、10人から15人のうち何人かというところで、そうするとこちらにいらっしゃらない方にもお願いするというやり方も検討の余地があるかもですね。

渡邊委員 多分高橋さんが選ばれているのは、境港の図書館のことをよく知っていて、そのコンセプトに合うといったところなのかなと思います。でも色々な知見を幅広くということであれば、中田委員が今おっしゃられたような方も必要ではあると思います。

大部委員 凝り固まった考えに固執してしまうという可能性もあるのならば、開催が年2回であるのならば、近隣の方や、図書館のことに精通している方に、何かアドバイスをもらえるようなことがあってもいいのかもしれないですね。

山本教育長 甲斐先生などは、今回の名簿に名前はありませんけど、ご勇退されたということでしょうか。

角課長 すみません、私もよく承知しておりません。

山本教育長 前の図書館長ですが、高齢だからかもしれませんね。
オンラインも含めて、色々な形での図書館の未来のあり方について、ご意見をいただけるのであれば、ぜひ参考になるところもあると思うので、顔の見える人も大切ですけど、これからの時代、新しい協議会のあり方というのは、検討の余地はあ

うかと思いますので、検討を生涯学習課で進めてみてください。
い。

他にご意見等ありますでしょうか。よろしいですかね。
それでは、ご承認いただけますでしょうか。

一同

はい。

山本教育長

協議事項の9月定例会市議会の教育委員会関係質問答弁についてのご質問等ありましたら、お受けしたいと思います。よろしくをお願いします。

中田委員

教育総務課の質問で、安田議員さんの問1、二中西側の道路の質問に対するところで、「夏季休業中に学校・見守り隊・保護者代表・警察・市や県の関係課などが合同で点検を行い、対策を協議しております。」ということと、参考で「令和7年度二中からの危険箇所の報告はなし」とありますが、質問では「検討したらどうか。」とあり、そういったところの話で横の繋がりといいますか、検討しているのに、何かうまく話がいていないように聞こえたのですが、せっかく対策したのでしたら、それは議会で質問になる以前に何か調べることが、もしかしたら必要になるかもしれませんし、ちょっと読んでみると、何かちぐはぐな感じがしました。

山本教育長

その辺の経緯はどうでしょうか。

築谷主査

通学路の危険箇所の点検につきましては、学校が地元の方と一緒に保護者の声や地元の声に応じて、年度初めに行いまして、ここは子どもが通るには危険だと判断された場所が学校を通じて教育委員会にあがってきます。それをもとに、関係者が集まり、夏休みを中心に通学路点検をするといった流れなのですが、二中からは、危険箇所として出てきた最新のものが平成30年でして、それ以降は出てきておらず、二中として、ここは危ないという危険箇所一覧としてのノミネートは、この7年間ない状況です。

ただ、それとまた別の組織として、PTA要望というのがありまして、自治会要望やPTA要望など、色々な要望がこちらにもあがってくるのですが、平成29年度のPTA要望で、ここ

の道路がガタガタで危ないということがあがって参りました。本当は通学路点検の危険箇所であげていただければ早いのですが、この秋にPTA要望としてあがってきたので、関係する課である農政課や管理課が集まり、そこで舗装をするということになりました。車両が通るというよりも、歩行者と自転車がメインの道路になっているので、2.2メートルの幅が十分あることから、蓋をかけたりする必要もないだろうという判断で、舗装だけして、子どもたちが歩きやすく、通行しやすくさせてもらったという経緯がございます。

確かにおっしゃられるように、学校によっては、通学路点検を全職員あげてされる学校もあれば、担当者だけが極めて少ない情報をもとに、今年も危険箇所はなしというような、安易に報告されるところがあって、こちらの方は本当にそうかということ伝えるのですが、やはり出にくい学校はあります。そのあたりもう一度、依頼をしながら、細かいところでも点検できるようにしていきたいと考えています。

中田委員

それは、一般の我々からすると、このようなことがわからないのは当たり前だと思いますが、しかし、議員さんからこのような質問があって、回答とのこのチグハグ感は、とても弊害があるのではないかと感じてしまうところではありますね。

大部委員

これを質問されるということは、何かあったのでしょうか。

北野次長

多くの保護者というわけではないと思うのですが、一部の保護者が議員さんに相談されることがございます。それが取り上げられて今回の質問となったと思っております。ただ、個人によって感じる差もありますし、全部が全部学校に伝わっているかどうかというのも、さっき言った通り、二中には伝わっていないのかもしれませんが。答弁にも書いておりますように通学路の決定は学校が行っておりますので、学校にも安全を確認してもらい、そのまま通学路として使っているという状況です。

そういう状況で、今回小さい声ですけどあがってきていますので、舗装やポールといった対策を行い、市内の全部の側溝に蓋をかけるとなると大変なので、その辺の安全面も見ながら行っているところです。特にその場所も今、確認もしておりますし、側溝なども職員で清掃もしております、そんなに危険は

ないかなという、こちらの判断なのですが、やはり個人さんでは思われることもあると思うので、その辺りは話を聞きながら、いろいろ学校とも協議を行い、対応していけたらと思っています。

渡邊委員

やはり何が原因で困っておられるか、あそこなんかすごく草が高いから何かそういった交通、せつかく大きい道路に歩道があるのに、そこを例えば歩けばいいとかっていうふうに思っておられるのか、原因がわからないから、何で困っておられてこんな声があがってきたのか、私も不思議に感じました。

北野次長

ここには載せていないのですが、質問の中では、保護者さんによっては、木が生い茂っているので不審者のリスクなどもあるし、あとは水路の方も暗いときはポールがあっても転落の恐れを感じるというのは前段でありまして、それで検討してこないかということで、質問されておられます。

西側は駐輪場がすごく近くて、あそこをよく最後は通られるというのが多いですし、大きな道路も通行量もあるので、なかなか危険かなというのはあります。その人それぞれかなと思いますので、通学路の中で選んで使ってもらえればと思っています。

山本教育長

他にはいかがでしょうか。

十河委員

西側の道路は二中の敷地内の幅だけ舗装がしてあるということでしょうか。誠道まではしてないでしょうか。

築谷主査

誠道までしております。当時といいますか、10年以上前は、雨が降ったら泥道で、農家の車の轍があって、非常に歩きにくく自転車は乗りづらい部分がありましたので、舗装して通学路を整備してほしいということで整備をしましたが、どうしてもあそこは砂があがるので、砂に滑って自転車で転倒というのが、今年度1件ありました。そういったリスクもあるのですが、ただ舗装されてない前の時と比べると圧倒的に安全が高まっているかと思います。

山本教育長

他にはいかがでしょうか。

渡邊委員

働き方改革のところでICTの活用で、自動採点ソフトというものを採用されたということで、きっと先生たちの大きな助けになっているのではないかと思いますのですが、これは何年生から導入されていて、教科は何かとか、自分が教員をしていたから余計になのですが、特に低学年などは採点をすることによって、子どものつまずきの具合や、間違ったところを指導に返すところなど、いろいろなことがあると思うので、それを両てんびんにかけての導入で、今本当に何を先生たちの中から仕事をとってあげるのが一番いいのかなというところで、すごく悩まれながらの導入だろうとは思いますが、小学生、中学生、どの教科でどれぐらいの割合で導入されているのでしょうか。

築谷主査

渡邊委員のおっしゃりたいことは非常によくわかります。答案は子どもたちの今までの学びの姿ですので、それを指導したことが、どれだけ子どもたちの力に繋がっているかを見る、最大のお手紙というかですね、そういう思いで、私も見ていましたし、その答案を大事に、子どもたちとやりとりをしていたというのはあります。

今回導入したのが百問繚乱というソフトになります。お金もかかるものです。対象は中学校だけでして、それぞれの子どもから出た答案、自作のテストの答案用紙をスキャンして、データで読み込むという、PDF化をするということが1つ必要になって参ります。基本的な機能としては、記号だったり、数字だったり、簡単な英単語を認識するということで、英単語のテストや数学の問題などを中心に、たちどころに答えとしては採点をしてしまうというものになります。例えば、全員の問1を1枚の表にすることもできますので、そこも1問の正答率を瞬時にできてしまいます。子どもたちが表現をする文書表記であるとか、そういったものはこの機能には今のところまだ用意していないということです。そちらは、教員が採点をしていくことになっていきますし、文書表記の回答も一覧といいますか、全部横並びで出せますので、先生も分析する上で比較検討ができたり、いい回答を他のメンバーに伝えたりということもできます。使い方によっては、次の指導にも生かせるような、分析ができるのではないかなというふうに期待はしております。

す。

渡邊委員

いいですね、スキャンしたら大丈夫というのが、何か入力するとすごくまた手間暇がかかるだろうなと思いますので、ありがとうございました。

山本教育長

他にはいかがでしょうか。

中田委員

生涯学習課の方の文化財の質問で、文化財について、適正な維持管理がなされていない状態であるというところで、市の職員が、草取りを行いましたとありますが、やはりその辺ところが、職員さんが草取りまでするということが自体がどうなのかということを考えてしまうものですから、その前段で何とかならないのかと考えてしまいます。ただ、所有者がなかなか分らなかったというようなことがあるようですし、それも致し方ないところなのかもしれません。

あと、広く周知してもらおうといった話もあったと思うのですが、市のホームページを見ても文化財についてという一覧表があるのですが、あちらについても、文章では明記してあるのですが、場所を追っかけることはできないと思います。外部ホームページの境港の紹介というところで、一部分これはここに書いてあるケースはあったようですが、そういうところを今後大事にしていき、それを周知してもらおうということであれば、境港市の中にはこういったところがありますよ、文章だけじゃなくてこれはここにありますよと写真で分かるというような、そういったことまであってしかるべきではないかなと思いました。

角課長

ハンドブックがありまして、ここには一応、場所なども載っているのですが、確かにホームページにもあるといいかと思えます。

中田委員

みんながみんなハンドブックを見ているわけではないので、今の時代どうしてもネットで調べてしまうので、そういった時に、ホームページに場所が載っていると、わかりやすいのではと思ったものです。なかなかこれを見ても、読んでいる場所がだいたいここかなというのは、私は商売柄わかるのですが、で

も実際にこれを見ただけの人は多分わからないだろうかと思います。

角課長

ホームページに場所など載せるのはまた課内で検討してみたいと思います。

初めに言われた所有者不明のケースで、今回市で草取りしたケースですが、こちらが中野町にある景山家墓地というところなのですが、その所有者の方が東京に住んでおられる方で、聞くところによると結構前に亡くなっているのではないかと思います。ということで、管理者の方も、近くの別の場所に住んでいらしていたのですが、その方も数年前に亡くなられてまして、本来はお子さんが管理すべきだったのですが、どこか手違いがあったのかそのお子さんに先日お話を伺いましたところ、そのお父さんが亡くなる前に、もうここの所有は市に変わったということを聞いて、じゃあ自分はもう管理しなくてもいいと思い込んでいたみたいでした。ただ管理する気はある方で、自分に何かあったときも、下の代にもちゃんと管理するように伝えておきますというようなことまで言ってくださいますので、今後はきちんと管理してもらえると伺っております。

それから、他にも市内の野外にある文化財は、24箇所くらいあるのですが、その所有者も登録したときの所有者と管理者とが今はわからない状況でして、市長からもみんなに会ってみなさいとも言われており、それを言われたからというわけではないですけど、1回その所有者の方にお会いして、今後の管理についてお話をしてみようと考えていますので、今年度中にやっていきたいと思います。

大部委員

所有者に頼って、市の指定文化財なのですが、代々所有者や管理者が管理していくようお願いしていますが、何か今言われたことで、口頭で受け渡すことで物事が成立してしまっているということがあるのですが、いい方法があるのですかね。

角課長

今それでわからなくなっている部分があるので、その辺を1回はっきりさせて、それから市でしっかりと管理していけたらと考えております。

大部委員 管理は市ですか。

角課長 所有者が、基本的に管理します。

山本教育長 いいご意見をいただいたと思いますので、ハンドブックがいかにデジタルとリンクしていくかというようなことが、QRコードで地図が表示されると、例えば一番の芋代官碑について、ここの芋代官碑がこれかなんていうのが、すぐに出てきたりすると、確かにいいなと思いました。そこから派生してですけど、そこに行って何か写真を撮ってきて、24個全て集めると何かありますよといったようなこともあれば、本当に歴史を好きな方や境港の先人の残したものを調べたりするようなことが、子どもたちにも波及してくると思うので、自分の地域の芋代官碑に行ってみようなんていうのはそれぞれの小学校でやっていると思うのですが、それが市全体にもこれだけあるというようなことに繋がるといいなと思いましたので、デジタルを上手に活用して融合させるようなホームページづくりを進めてください。他はいかがでしょうか。

十河委員 市史編さん室のデジタルアーカイブについてなのですが、これを見ているとCD-R、USBのリスト化ということなのですが、CD-RとUSBのデジタルデータだけで終わってしまっているのか、それともアナログでも保管をしているのかという状況がもしわかれれば知りたいです。

角課長 写真などを全部デジタルデータとして保管して、順次作業に今かかっているということなのですが、まだ実際、ほんの少ししか進んでいないような状況です。答弁書では、令和9年度までに整理をするとしていますが、これは市史に使う資料の整理という意味でして、実際に他のところの整理をするとなると、多分終わらないのではないかと思いますし、そのためにまた人材も必要になってきますので、これについては、市史の方とも協議して動いていきます。

十河委員 デジタルデータを扱う仕事をしていたので、すごく危険なものという認識があり、デジタルデータは絶対ダブルでとか、同一場所に保管しないと、冗長化、何重にも同じものを作った

りとか、CD-Rも、今CDが出てからもう何十年も経っていますが、初期のCDは聞けないものがでてきたりしています。CD-Rは、やわらかい素材を凹ましているだけなので、あれはへこみが戻ってきたらデータが消えてしまうくらい、本当に弱いものなので、これを信用して全部入れましたということは、本当に怖いことなので、それ以外にも、紙媒体のアナログで残すのが本当に一番いいと思います。何重にもしておかないと、デジタルを信用してしまうと怖いことになるので、USBもよく壊れますので、いつデータが消えてしまうのかわかりません。だからそういうのを、もしCD-Rだったら、DVDとCDを別々のところに保管をするとか、それでも僕は怖いと思うので、大切なデータだと思うので、本当に何重にもバックアップをとって、そういう体制をとられた方がいいとすごく思います。複製はすぐできると思うので、メディアじゃなくてちゃんとした物で残した方が、ベストだと思うのですが、デジタルを信用しすぎるのも怖いと思います。

山本教育長

十河さんが紙が一番ですって言われると思いませんでした。

十河委員

もうしておられるなら、別の場所に違う状態で、デジタルデータで保管すると、そのリスクは減りますけど、どちらもなくならないとは限らないので、それも怖いと思います。その辺いろいろ勉強していただいたら、出てくると思いますのでよろしくお願いします。余談ですけどカラー映画とかは全部白黒データで、RGBとかそういうRの白黒のデータ、Gの白黒データ、ブルーの白黒データの白黒のネガフィルムに起こして保管しているのですよ。だから、デジタルデータが怖いなというのがあります。

角課長

日野町に視察に1回行ってボランティアを募ってみようということも考えております。十河委員もぜひお手伝いしてもらえたらと思います。管理については、気を付けてまいります。

十河委員

ぜひ、大事なデータなので、作業を進められることは、素晴らしいと思うのですが。

中田委員

定期的に確認できればいいのですがね、ちょこちょこ確認を

しながらというのができればいいのですが、1回おいてしまったらそのまま何が入っているかわからなくなってしまうということもあります。

十河委員 C D－RやD V D－Rは怖い。

大部委員 確かにD V Dなどを見ようと思っても少し前の10年、20年前のは開けないですものね。

北野次長 若桜町に市史の視察に行きましたが、データは大きなサーバーに保存されています。今言われたのは多分、その貸し出しかと思います。市史を書くのにいろいろな資料があるので、それを貸し出しするときは、紙ベースであったり、データだったり、基本的にはそのサーバーで管理していて、貸し出し用にそういうものを使うということをしておりましたので、そういう活用の仕方もしていかないといけないのかなと思います。でも今言われたことは、すごく怖いなと思いました。

十河委員 サーバーも怖いですよ。

大部委員 災害も多いから怖いですよ。

中田委員 個人データにしたって、N A Sでミラーリングしてしまうと同じデータを作ってしまうことは普通にやっているじゃないですか。

山本教育長 クラウドに保存なんていうのは、よくわからないのですが、そんなことができるのですか。

十河委員 できますよ。こちらでも多分そういうサーバーを用意して、そこに保管という形もできると思うのですが、サーバーも完璧ではないので、ミラーリング以上のレイドの状態、ハードディスクが10個あったら、少しずつ保存していい具合に、いくら壊れても修復できるような体制をとれるのですが、機械が壊れてしまったらどうしようもなくなるので、そういうことも考えて、別の媒体とか、そういうのを冗長化して保存しておかないと怖いと思います。

山本教育長

D X推進課という課がうちにもできたのですが、これと教育委員会内のD Xっていうのは全くリンクしていなくて、このあたりが繋がっていくといいなと思います。子どもが持っているギガの端末、1個1個にしても、教育委員会でしたら、教育総務課の渡邊係長が修理から更新から新しいのまでを児童生徒数が上下するので、全部1人で、よろず屋稼業でやっているのですが、そういうデータ保存のことも考えれば、D Xの分室が教育委員会にあるような形をとってもいいですね。

十河委員

市全体で考えていただきたいですね。

山本教育長

市史だったらそれこそ市のことなので。

十河委員

同じデータをこっちに保管して、あっちに保管してではなくて、このデータが同じものだけど、複数の場所で、別の媒体で保管してあるというのがベストだと思うので、みんなが使われるといいと思うのですが。

山本教育長

市の例えば戸籍から始まった個人データは、きっとすごく強いセキュリティでデジタルで保存されているのですよね。そういうものの中に、何か分身なり本体なりを組み込めるような形をとらせてもらえればいいと思うので、その辺りのことをまたD Xとも相談してみられて、強いセキュリティを、このデジタルデータは、必要とするというようなものがあるといいですね。教育委員会がもってして、ゼロからだからみたいなことになっては大変なことですものね。そう簡単にはいかないかもしれませんが、市の個人情報のデータとは一緒にならないかもしれませんが、これも貴重なデータだと思いますのでね。

十河委員

せっかくデジタル化されるのでしたら、それらを踏まえてもらえればと思います。

山本教育長

他に別件でも、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

一同

はい。

山本教育長

ありがとうございます。では質問がないようでしたら協議は以上ということになります。これからの進行は事務局の方でお願いいたします。

【4. 報告事項】

角本補佐

それでは報告事項、行事予定についてお願いします。

《教育総務課 行事等報告》

※築谷主査より

2学期始業式、第1回境港市就学支援委員会、9月定例市議会、中学校修学旅行、中学校職場体験学習、小学校秋季運動会、学校先進地視察、小P連教育懇談会、芸術鑑賞教室、小学校連合体育大会、小中学校学校訪問、中P連教育を語る会、令和6年度決算審査特別委員会、就学時検診、連合科学作品展、連合音楽会、中国地区都市教育長会等について説明

《生涯学習課 行事等報告》

※角課長より

境港市公民館活動研究集会、高校生あいさつ・交通マナー運動、公民館祭り等について説明

事務局

行事報告、行事予定について、ご質問等ありますでしょうか。ないようでしたら、次回の来月の定例教育委員会の日程について確認したいと思います。

【5. 閉会】

山本教育長

それでは本日の定例教育委員会は閉会といたします。ありがとうございました。